

益新(中国)が青島仙手リハビリに資本参加

2020年6月、益新(中国)有限公司(以下、益新(中国))は中国の山東省にある青島大手新華錦康復有限公司(以下、青島仙手リハビリ)に資本参加しました。青島市初の日本式リハビリ治療施設である青島仙手リハビリは、今回の益新(中国)による資本参加によって、新しい発展ステージを迎えることが期待されます。

青島仙手リハビリは昨年6月に施設を開業し、床面積2,000㎡で、日本の先進的な設備及び技法を導入しています。「毎日、毎回、患者ごとに、心を込めて」というサービス理念を掲げ、細心の接遇と質の高い専門的リハビリ治療を通して、過去一年間に100名以上の患者様に回復又は退院を実現し、家庭復帰・社会復帰を叶えてきました。

青島仙手リハビリの業務内容が益新事業の将来計画にあるバリューチェーンに位置し、今回の資本参加により、リハビリ治療等のサービス事業のみならず、関連分野における製品事業にも新しい商機をもたらすことが期待されます。



青島仙手リハビリへの資本参加の調印式(於中国・蘇州)

益新集団広報渉外チーム

2020年6月26日